

専門学校メロITビジネスカレッジ 成績評価基準【全学科共通】

■ 評価項目

各科目の特性に合わせて、以下の項目を組み合わせた平均評価値で評価を行う
但し、「出席」「態度」「理解」は必須評価項目とする

| No | 項目 | 必須 | 説明 | 評価対象 |
|----|----|----|--------------|---------------------|
| 1 | 出席 | ● | 出席状況に関する評価 | 科目毎出席率 |
| 2 | 態度 | ● | 授業態度に関する評価 | 授業中の様子 |
| 3 | 理解 | ● | 内容理解度に関する評価 | 小テストやヒアリング等のフィードバック |
| 4 | 作品 | | 提出作品に関する評価 | 成果物として作成する課題 |
| 5 | 検定 | | 検定試験結果に関する評価 | 成果物として受験する検定試験結果 |

■ 評価基準

各評価項目について、それぞれの判定基準を基に評価値を決定する

<出席>

授業毎の出席率で評価する(授業毎の遅刻・早退は3回で1欠課とみなし、就職活動や出席停止・忌引きによる欠課は除外する)

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|------------------|
| 5 | 出席率：95%以上、100%以下 |
| 4 | 出席率：90%以上、95%未満 |
| 3 | 出席率：85%以上、90%未満 |
| 2 | 出席率：80%以上、85%未満 |
| 1 | 出席率：80%未満 |

<態度>

授業担当講師の視点から評価する

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|---|
| 5 | 授業に取り組む姿勢、態度、意欲等が十分に感じ取れる(自ら質問を発したり、全体への問いかけに対して発言を行える) |
| 4 | 授業に取り組む姿勢、態度、意欲等について問題なし(個別に回答を求めた場合に、適切な発言を行える) |
| 3 | 一時的に授業に集中していない時もあるが、全体的に授業に参加できている(発言はしないが、ある程度の理解度は確認) |
| 2 | 居眠りやスマホ弄り等、授業に対する集中力が欠如気味(提出物等の完成度が低い) |
| 1 | 寝てばかりいる、授業に参加していない、授業態度として不適切(提出物等が確認できない) |

<理解>

授業担当講師の視点から評価し、評価が偏る場合は小テスト等の点数を基に客観的に評価する

※担当講師評価の場合

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|---------------------------------------|
| 5 | 授業内容に対して十分理解しており、更なるレベルアップが見込める |
| 4 | 授業内容に対しての理解度は十分である |
| 3 | 授業範囲に限定しての理解はあるが、応用的な理解度は不足している |
| 2 | 授業内容に対して断片的な理解が見受けられるが、全体的な理解度は不足している |
| 1 | 授業内容に対して一切理解できていない |

※小テスト等による評価の場合

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|---|
| 5 | 得点順位が上位20%以上(複数回のテスト実施時は総合得点による順位を基準とする) |
| 4 | 得点順位が上位40%以上(複数回のテスト実施時は総合得点による順位を基準とする) |
| 3 | 得点順位が上位60%以上(複数回のテスト実施時は総合得点による順位を基準とする) |
| 2 | 得点順位が上位60%以下(複数回のテスト実施時は総合得点による順位を基準とする) |
| 1 | 未受験(病欠等で再テストを行う場合は、受験者への解答提示前に同一テストを実施するか、異なるテストを用いること) |

<作品>

授業での成果物に対し、担当講師の視点から評価する

成果物の提出が複数回にわたる場合は、全体の完成度・提出度から評価する

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|---------------------------------------|
| 5 | 作品の完成度が十分であり、創意工夫が見受けられる |
| 4 | 作品は完成しており、課題の内容を網羅できている |
| 3 | 作品が提出されており、課題の内容が不足している部分はあるが動作は可能である |
| 2 | 作品は提出されているが、動作不能など作品の完成度が不十分である |
| 1 | 作品未提出、または評価不能 |

<検定>

授業の成果として外部組織が主催する検定試験を受験する場合は、試験結果によって以下のように評価する
 授業の成果として受験する試験とは異なる難易度(レベル)の試験を代替受験する場合の評価は、別途評価基準を設ける

※合格点が80%の場合

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|----------------------|
| 5 | 合格、かつ得点が90%以上 |
| 4 | 合格、かつ得点が90%未満 |
| 3 | 不合格、かつ得点が60%以上、80%未満 |
| 2 | 不合格、かつ得点が40%以上、60%未満 |
| 1 | 試験欠席、または不合格で得点が40%未満 |

※合格点が60%の場合

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|----------------------|
| 5 | 合格、かつ得点が80%以上 |
| 4 | 合格、かつ得点が80%未満 |
| 3 | 不合格、かつ得点が40%以上、60%未満 |
| 2 | 不合格、かつ得点が20%以上、40%未満 |
| 1 | 試験欠席、または不合格で得点が20%未満 |

※合格点が70%の場合

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|----------------------|
| 5 | 合格、かつ得点が85%以上 |
| 4 | 合格、かつ得点が85%未満 |
| 3 | 不合格、かつ得点が50%以上、70%未満 |
| 2 | 不合格、かつ得点が30%以上、50%未満 |
| 1 | 試験欠席、または不合格で得点が30%未満 |

※得点が不明な検定の場合

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|------|
| 5 | 合格 |
| 4 | |
| 3 | 不合格 |
| 2 | |
| 1 | 試験欠席 |

※その他、検定結果の点数が明確な場合は以下のルールに則る

| 評価値 | 判定基準 |
|-----|--|
| 5 | 合格、かつ得点が【合格点+((満点-合格点)÷2)】以上 |
| 4 | 合格、かつ得点が【合格点+((満点-合格点)÷2)】未満 |
| 3 | 不合格、かつ得点が【合格点-(満点×0.2)】以上、【合格点】未満 |
| 2 | 不合格、かつ得点が【合格点-(満点×0.4)】以上、【合格点-(満点×0.2)】未満 |
| 1 | 不合格、かつ得点が【合格点-(満点×0.4)】未満 |

※授業の成果として受験する試験とは異なる難易度(レベル)の試験を代替受験する場合の評価

| 受験する試験 | 評価値 |
|--------------------|--|
| 本来受験する予定の試験より上級の試験 | 【「判定基準」より導き出した評価値】+1 ※但し、評価値の上限は「5」とする |
| 本来受験する予定の試験より下級の試験 | 【「判定基準」より導き出した評価値】-1 ※但し、評価値の下限は「1」とする |

■ 全体評価

各評価項目の評価値を基に以下の計算式よりスコアを求め、最終的な成績を決定する
 授業でのランキングを求める際はスコアを基に決定する

$$\text{スコア} = \text{評価値合計} \div (\text{評価項目数} \times 5) \times 100$$

| | | | | | |
|----|------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 点数 | 80以上 | 60以上、80未満 | 40以上、60未満 | 21以上、40未満 | 20以下 |
| 成績 | A(秀) | B(優) | C(良) | D(可) | F(不可) |